

# 新川水土里たより

第17号

新川農林振興センター農業農村整備広報・広聴連絡会 〒937-0863 魚津市新宿10-7 0765(22)9137【指導課】  
新川農林振興センターホームページ [http://www.pref.toyama.jp/cms\\_sec/1630/index.html](http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1630/index.html)

### 次代の農業・農村に向けて

山々の木々の緑が色濃くなり、平野に広がる水田では、稲の苗が日増しに大きく育っているところ。今年も、田植の繰り下げが計画通り進み、生産者や農業関係者の皆様には、昨年同様、高品質で美味しい富山米が生産されるよう、今後の適切な栽培管理をお願いいたします。

さて、平成30年産から、国による米の生産数量目標の配分が廃止されることとなっています。県では、昨年度、農業者や関係団体等からなる富山県農業再生協議会において、今後も「需要に応じた米の生産」を継続し「水田のフル活用」を図っていくことを決定、県下に周知したところ。その一方で、水田率が96%と全国一高い本県にとっては、この農政の見直しの影響を懸念し、給と価格安定を図る新たな仕組みを構築すること、所得拡大を

目指して水田をフル活用していく生産者に対し経営所得安定対策等の充実することなど、国に対して要望しているところ。しかしながら、今後も米の消費量の減少が続き、各県で米の新品種が育成されるなど、米を巡る産地間競争は一層厳しくなるものと想定されます。このような中、県内でも米の生産割合が高い新川管内では、次代に向け、生産者の所得拡大に向けた取り組みを進めていくことが重要です。

例えば、「生産コスト削減」に向けては、場の大区画化や担い手への農地集積を一層進めると、食味が良く品質が高い「売れる米の生産」に向けて適切な栽培管理や水管理を徹底していくことなどが必要です。さらには、「所得拡大」に向けて水田をフルに活用し、野菜等の高収益作物導入に新たにチャレンジすることも必要になってきてい

|                           |     |
|---------------------------|-----|
| ◆目次◆                      | ページ |
| ● 所長挨拶                    | (1) |
| ● 各課紹介                    | (2) |
| ● 新規地区紹介                  | (2) |
| ● 災害復旧派遣の報告               | (3) |
| ● 新規採用職員紹介                | (3) |
| ● 高収益作物の導入による新たな営農の展開に向けて | (4) |
| ● フェイスブックの開設              | (4) |
| ● 編集後記                    | (4) |



新川農林振興センターでは、新川管内の農業・農村が次代に向けて発展するよう、効率的で効果的な生産活動を支える「生産基盤の整備」や、新品种や革新的技術、高収益作物の導入など「技術の普及指導」など、ハード・ソフト両面の取り組みについて職員が一丸となって展開してまいりますので、生産者、関係団体の皆様には、引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 高収益作物の導入による新たな営農の展開に向けて

県では、米中心の営農体系から野菜等の高収益作物を導入した営農体系への転換を促進するため、国事業を活用し、水田の畑地化・汎用化を支援しています。

一方、平成22年より、各JAでは、1億円産地づくり戦略品目を選定し、水田利用による野菜の生産拡大等を推進しています。

そこで、今後、管内の農業者・



か く ま 鹿熊 あ き お 生 技師  
鹿熊 隆生 技師  
農村整備課  
農地整備第二班

今年から社会人ということもあり仕事に対する不安はありますが、少しでも早く仕事に慣れ、地元の富山県に恩返しができるよう頑張ります。よろしくお願いたします。

### 《センター管内JA取組実績》

| JA名 | 戦略品目名 | H21(取組前) |          | H28実績    |          | 販売額の伸び(H28/H21) |
|-----|-------|----------|----------|----------|----------|-----------------|
|     |       | 栽培面積(ha) | 販売額(百万円) | 栽培面積(ha) | 販売額(百万円) |                 |
| みな穂 | さといも  | 3        | 4.2      | 4.8      | 14.1     | 336%            |
|     | もも    | 4.6      | 2        | 4.3      | 12.1     | 605%            |
| 黒部市 | ねぎ    | 4        | 18.2     | 9.4      | 71.6     | 393%            |
|     | にら    | 0.2      | 4.7      | 0.2      | 4.2      | 89%             |
| 魚津市 | ねぎ    | 0.4      | 1.7      | 1.8      | 20.8     | 1224%           |
|     | ばれいしょ | —        | —        | 0.6      | 0.8      | (皆増)            |

※JAアルプス(滑川市他)の戦略品目は、「さといも」「ねぎ」です。

また、本年度、JA毎に、これまでの取り組み経過を踏まえた「1億円産地づくり加速化計画」を策定し、より一層の生産

■1億円産地づくり戦略作物  
各JAでは、戦略品目の生産拡大に向け、担い手の確保(稲作経営の複合化など)と大規模作付経営体の育成、水田利用による野菜生産(排水対策の徹底など)、省力化(機械化など)に取り組んでいます。

営農組織が取り組む高収益作物候補として、以下の作物を紹介いたします。

### 《全農が主導する広域産地形成品目の生産実績》

| 広域産地形成品目  | H27実績    |          | H28実績    |          |
|-----------|----------|----------|----------|----------|
|           | 栽培面積(ha) | 販売額(百万円) | 栽培面積(ha) | 販売額(百万円) |
| にんじん      | 30.4     | 45.1     | 31       | 62.1     |
| ばれいしょ     | 11.3     | 15.7     | 14       | 16.9     |
| キャベツ(加工用) | 3.6      | 8.1      | 10       | 21       |

にんじん収穫機

さといも定植機

しるねぎ大規模栽培

鉄製コンテナに収納された加工用キャベツ  
※圃場で収納し、そのまま出荷するため省力的

■全農とやま広域産地形成品目  
1億円産地づくりを契機とし、全農とやまでは、戦略品目として選定しているJAにとどまらず、広域的な産地形成を図る品目として、「にんじん」「ばれいしょ」「キャベツ(加工用)」の生産拡大を推進しています。

【担い手支援課 主幹・課長 西村聡】

### フェイスブックをはじめました!

「とやま水土里探訪ブログ(富山県農村整備課)」  
<https://www.facebook.com/toyama.nousonseibi>

是非ご覧ください!

### 編集後記

今年度に入り2ヶ月が経過しましたが、当班にも上記新規採用職員が配属されました。彼から毎日質問を受け、私自身が当センターに配属されたばかりの頃を思い出します。これまで先輩・上司や関係機関の方からたくさんのお話を教えていただきました。そのことに感謝しながら、引き続き、私も彼と一緒に勉強します。

そのような中、毎日どこかで「ふふふ」と笑いあえるような環境を作りたいと思います。【計画班 砂山】



### 各課紹介



#### 企画振興課

当課は、中山間地域等直接支払制度をはじめとする中山間地域振興、耕作放棄地対策、鳥獣被害防止対策、都市農村交流、さらには、6次産業化や地産地消、林地開発、保安林内の許認可など多種多様な業務を担当しています。

特に今年度は、イノシシなどの侵入を防止する電気柵の設置などの鳥獣被害防止対策や帰農塾（笹川塾（朝日町）、黒部塾（黒部市））やインターンシップ（魚津市松倉）などの農山村への定住・半定住の促進を重点的に取り組むこととしています。

【課長補佐 室信博】

#### 管理検査課

当課は、センターで発注している建設工事や、建設工事に係る測量・設計業務の審査・検査を担当しています。

検査では、出来形や品質等が確保され、完成と認められるかどうかを確認しています。また、

検査を通して、受注者さんの施工技術が向上するよう助言や指導を行っています。

今、新川地域では、ほ場や排水路の整備、治山や林道整備などの工事が行われています。厳正かつ公正な検査を通して、新川地域に住んでいる人達に喜ばれる品質の高い公共工事の建設に取り組んでいきます。

【課長 藤井 彰男】

#### 指導課

計画班では、県営事業の新規採択に向けた計画策定を行っています。近年の厳しい予算状況のなか、様々な国の補助事業を活用し、早期の事業着手が図れるよう努めてまいります。

指導班では、団体営事業の支援・指導や土地改良区の機能強化・運営支援等を行っています。地域のニーズに的確に添えてまいります。

新川地域の特徴を活かした農業農村の振興と持続的発展のため、皆様と共に課員一同頑張っております。引き続きよろしくお願いたします。

【課長 広田 祐一】

#### 農村整備課

自然の恵みに感謝しながら、

先人たちが築き上げてきた水と土（農地）を守り、育み、そして次世代に継承していくことは私たちの大事な使命です。この使命を果たすべく、当課では公共工事を通じて、基幹水利施設の長寿命化や農業の競争力強化に向けた農地の大区画化・汎用化に取り組むとともに、県土の強靱化に向けた農地の防災対策やため池の更新・安全対策整備の推進に取り組んでいます。

私たちは地域の声をよく聴いて具体的に提案し、関係者と議論を積み重ねて積極的に行動してまいります。今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いたします。

【課長 上島 克幸】

#### 新規地区紹介



新たに6地区の県営事業がスタートします。引き続き、地元の皆様のご協力をお願いいたします。

■農村地域防災減災事業  
下流への溢水被害等の防止及



笹川地区(朝日町)  
総事業費: 160百万円  
受益面積: 11.2ha  
事業内容: 区画整理A=1.4ha  
用排水路工L=3,440m  
工期: H29~H32  
担当: 農地整備第一班



前沢西部地区(黒部市)  
総事業費: 720百万円  
受益面積: 29.5ha  
事業内容: 区画整理A=29.5ha  
暗渠排水工A=29.5ha  
工期: H29~H34  
担当: 農地整備第二班



大布施南部地区(黒部市)  
総事業費: 530百万円  
受益面積: 75.5ha  
事業内容: 区画整理A=1.4ha  
用水路工L=11,850m  
工期: H29~H34  
担当: 農地整備第二班

水土里  
探訪ウォーク  
in牛ヶ首用水  
平成29年  
6月10日  
開催!

ご参加下さい!

#### 災害復旧派遣の報告



昨年度1年間東日本大震災の復興のため宮城県へ行って参りました。富山県からは3名派遣されており山元東部地区（亘理郡山元町）の区画整理事業を行ってきました。総事業費が約143億円、事業工期が平成26~32年となっており、平成28年度の予算は80億円、1人あたり4億円程度の工事を3~4件監督してきました。平成29年度までに残工事すべてを発注する予定であり、平成28、29年度は工事のピークとなっております。

最初に現場を見た時は、何もない広い土地に雑草が繁茂し、海岸沿いは復旧が進んでいないことを感じました。大まかな雑物は撤去されているものの、庭石や家電製品、建物基礎が撤去しきれず、工事中の雑物分別処理費はかなりのものでした。

山元東部地区の基盤整備は水田と畑地で行っています。砂質地盤のため排水路が埋まるこ

とや、畑地の土壌改良（生育障害が発生）・水田表土の確保が課題となっています。（総事業費も足りていません）クリア出来ない課題を抱えながら、設計協議や他機関協議、緊急的な整備工事を処理する毎日でした。派遣中、完了による成果を実感することはありませんでしたが、これまでとは違う業務の考え方や人の接し方を肌で感じました。また、1年間を乗り切れたことが自信になっています。業務をサポートしてくださった職場の皆様、本当にありがとうございました。今回の経験を新川地域発展のために活かしていきたいと思えます。



トロンメルによる  
耕土の雑物分別状況

【農地整備第一班 金川 直人】

び安定した営農のため、ため池や用水路を改修します。



大菅沼地区(魚津市)  
総事業費: 170百万円  
受益面積: 8.5ha  
事業内容: ため池工1式  
工期: H29~H31  
担当: 水利防災班



内生谷地区(黒部市)  
総事業費: 140百万円  
受益面積: 23.2ha  
事業内容: 用水路工  
L=800m  
工期: H29~H32  
担当: 水利防災班



宮津地区(魚津市)  
総事業費: 510百万円  
受益面積: 44.6ha  
事業内容: 区画整理A=18ha  
用排水路工L=5,950m  
工期: H29~H34  
担当: 農地整備第一班

■農地整備事業  
昭和年代に整備された農地の大区画化及び用排水路の更新等を行い、効率的な営農の基盤を整備することにより、新たな担い手の育成と農地集積を図ります。

#### 新規採用職員紹介



こもはら ひろつみ  
孤原 博海 技師  
指導課  
計画班

大学では施設園芸を専攻とした研究を行ってきました。農業土木に関してはまだまだ勉強が足りていないことを日々実感しております。優しい先輩方のもと、いち早く戦力になれるよう努力していきます。よろしくお願いたします。



なかだ しょうたろう  
中田 将太郎 技師  
農村整備課  
水利防災班

学部時代は橋梁、院の時は電柱の維持管理に関する研究を行っていました。農業土木は土木と少し違い、初めての分野で何かと不安がありますが、新しいことを覚えるのが楽しいので、日々努力して仕事に取り組んでいき